西脇市幼児教育センター通信

つなぐん　Vol 6

令和７年７月
発行：西脇市幼児教育センター
住所：西脇市和田町 688-47
電話：0795-22-2432
ＦＡＸ：0795-22-3156
Mail：youjikyouiku@city.nishiwaki.lg.jp

☆園小相互参観☆

５月に行われた相互参観（小学校参観）では、子どもたちの生き生きした姿とともに、具体的な子どもの学び、また先生方の温かい関わりや指導、支援、配慮からの気付き、また園小のつながり等を見ていただくことができたのではないでしょうか。

西脇市は「アプローチカリキュラム＋スタートカリキュラム」を園小接続カリキュラムとしています。そこで今回は「スタートカリキュラム」の中の「スケジュールシート作成要項」の３つの視点と、「アプローチカリキュラム」にある、「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」の視点から、「つながり」を意識した相互参観での事例を紹介します。

スタートカリキュラム 30

★「スケジュールシート作成要項」の３つの視点★

1．『知りたい』…先生が「あなたのこともっと知りたい」と願うこと。

2．『面白い』…この活動は、「子どもたちにとって面白いか？」ということを常に自身に問いかけ、子どもの姿に思いを馳せること。

3．『教えない』…なるべく教えないようにすると、子どもたちはより主体的に学ぶ。

知りたい！　面白い！　教えない！

育ってほしい 10 の姿

※信州幼児教育支援センター作成の 10 の姿のピクトグラム引用

算数の授業：数図ブロックを並べてみよう！

○の中は８個の数図ブロック

☆数図ブロックを思い思いに並べていた際、先生が「面白いね！」「同じブロックだけど並べ方はみんな違うね」と投げかけられました。それを聞いて子どもたちは「もっと面白い並べ方にしてみよう！」と意欲的に並べます。「僕の面白い！」「私のも見てほしい！」と次々前に出て黒板に貼り付け、友達に見せます。友達の並べ方にも興味をもち、面白さを伝え合いながら共にブロックを数えることを繰り返す中で、「面白いけど数えにくい」ということに気付きました。一旦子どもの興味関心に寄り添い意欲を引き出しながら、「教科の学びとしてはどうしたら良いか」ということも子どもたちが気付くよう投げかけておられました。

2自立心　3協同性　4道徳性・規範意識の芽生え　6思考力の芽生え　8数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　9言葉による伝え合い

知りたい！　面白い！　教えない！

体育の授業：自分たちで協力してコースを作ろう！

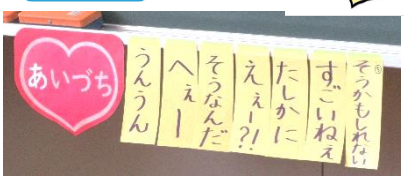
☆ マットやコーン等、様々な体育用具を使い、友だち同士で協力したり工夫したりしながらコース作りをしていました。 大きなマットは教師に言われなくても数人が寄ってきて上手に持って運んだり、 使う用具の数を自分たちで数えて決めたりして、楽しく遊ぶことができるコースを喜んで自分たちの力で作っていました。 実際にコースで遊んでみて「めちゃくちゃ疲れたから、もう１回考えて変えよう！」と試行錯誤していました。 順番や自分たちで決めたルールを守ったり、用具がずれている際は気付いた子がさっと元に戻したりしていました。 自分たちが楽しんで運動できるように考える中で、意見を伝え合ったり目的を達成するために協力したりして取り組む様子が見られました。

2自立心　4道徳性・規範意識の芽生え　面白い！

机の配置の仕方

☆ 皆の顔を見ながら授業を受けることができるよう「コの字型」に机を配置しておられました。 子ども同士が顔を見合わせながら話し合いをしている園での活動と結びつき、安心して子どもたちが学校生活を送っているようでした。

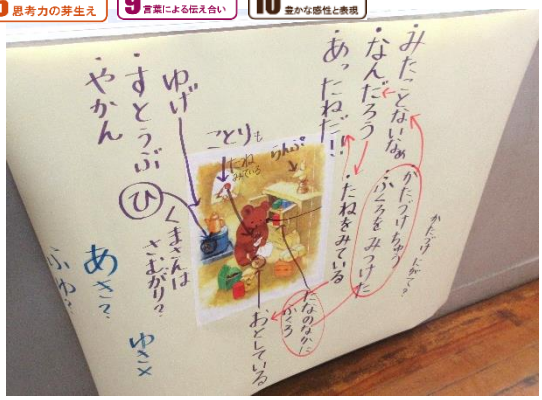
1健康な心と体　5社会生活との関わり　9言葉による伝え合い　知りたい！



相槌の仕方

☆ 話し合いや授業の際、「相槌を打ってもらうこと」で、自身が受け入れられている安心感を感じることができていました。 新しい学校、先生方、上級生との出会いの中で、伸び伸び学校生活が送れるのではないかと思いました。

知りたい！　面白い！　3協同性　6思考力の芽生え　9言葉による伝え合い　10豊かな感性と表現

国語の授業：前回の授業で考えたことを残しておく

☆ 前回までの授業でみんなで考えたことや気付いたこと等を見返すことができるよう教室の壁面に貼ってありました。園でのドキュメンテーションのように子どもたちが活動（学習）を振り返り、 次の活動（授業）へと生かすことができるよう工夫されていました。